

4 木 都 第 3 0 号
平成14年4月3日

淀川水系流域委員会
委員長 芦田 和男 様

京都府木津町長 宮本 裕三



淀川水系流域委員会への意見について

陽春の候 益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今後20～30年間の具体的な河川の整備内容を示す「河川整備計画」に答申される貴「淀川水系流域委員会」に次のとおり本町の意見を具申いたしますので、よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 平成10年度に「木津町水辺と歴史の回廊整備構想」を策定しております。
(別紙参照)

本町の「第3次総合計画」において、「本町は、木津川の水運を活用して栄えた町であり、木津川は今も住民にとってまちのシンボルである。」と位置づけ、うるおいのある河川整備を行うとしております。また、本町の都市計画マスタープランにおいても、「町の主要な水辺空間である木津川を、町のアメニティ形成の広域軸とし、生態系の回復、住民の接近性の確保、歴史的な面影の再生など、総合的な環境整備を進める」としております。

- 2 上記のように木津川河川敷の整備は、本町のまちづくりにとって重要な施策ではありますが、住民の生命と暮らしを守るための治水が最優先されるべきと考えています。

淀川水系流域委員会淀川部会

部会長 寺田 武彦 様

京都府木津町長 宮本 裕三



淀川水系流域委員会への意見について

陽春の候 益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今後20～30年間の具体的な河川の整備内容を示す「河川整備計画」に答申される貴「淀川水系流域委員会」に次のとおり本町の意見を具申いたしますので、よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 平成10年度に「木津町水辺と歴史の回廊整備構想」を策定しております。

(別紙参照)

本町の「第3次総合計画」において、「本町は、木津川の水運を活用して栄えた町であり、木津川は今も住民にとってまちのシンボルである。」と位置づけ、うるおいのある河川整備を行うとしております。また、本町の都市計画マスタープランにおいても、「町の主要な水辺空間である木津川を、町のアメニティ形成の広域軸とし、生態系の回復、住民の接近性の確保、歴史的な面影の再生など、総合的な環境整備を進める」としております。

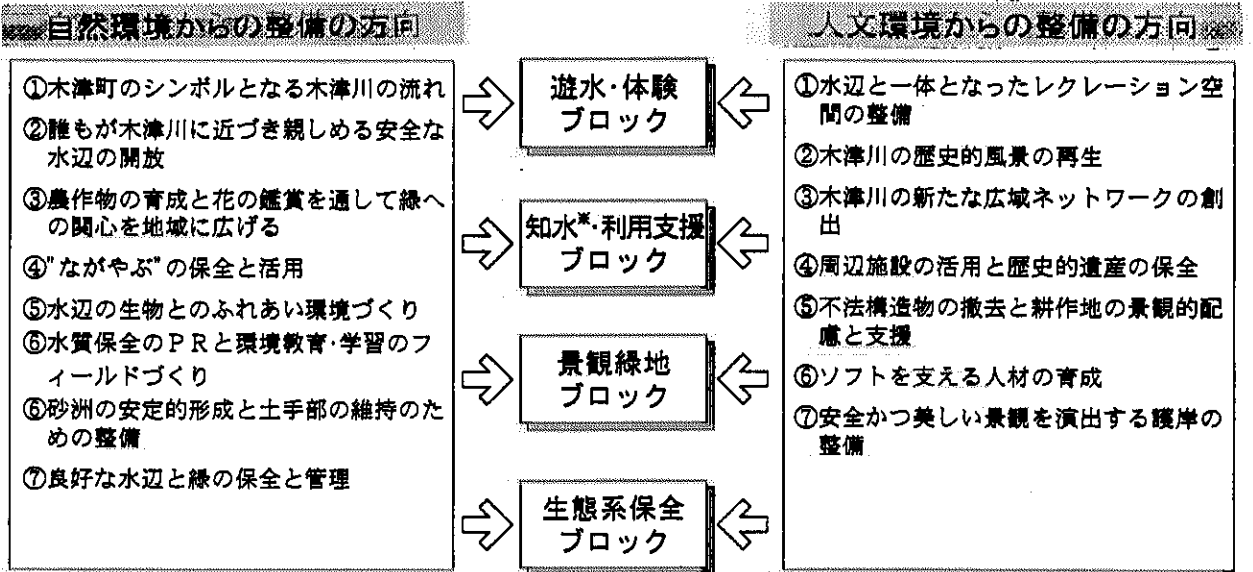
- 2 上記のように木津川河川敷の整備は、本町のまちづくりにとって重要な施策ではありますが、住民の生命と暮らしを守るための治水が最優先されるべきと考えています。

■ 木津町水辺と歴史の回廊整備構想策定調査

京都府相楽郡木津町

3) 整備の方向とブロック区分

人の水辺での活動と自然の植生・生態系を両立した空間づくりを実現するために、環境特性の評価から、自然環境と人文環境、それぞれから見た整備の方向の検討を行なう。そこからブロック区分を行ない、この河川敷エリアにおける具体的な整備の目的と支援方を提案する。



※知水・河川の歴史的・文化的背景や現在の生態的な機能などの知識を深めることを指す。

□ブロック区分

○遊水・体験ブロック

現況の河川空間特有のポテンシャルを生かした整備ならびに支援を行なうブロックとする。船着場や体験学習施設などレクリエーション活動の場や、誰もが水に親しめる水辺づくりを行ない、積極的な利用を図る。

○知水・利用支援ブロック

利用者が快適にレクリエーションが行なえるのための支援や、周辺に点在する史跡や歴史街道を結びつけるブロックとする。駐車場やトイレ、案内施設などの活動支援施設の整備と、木津川や周辺の町の歴史を伝える歴史散策の開催や木津川渡し船の再現などのイベントを展開していく。

○景観緑地ブロック

現況の耕作地や緑地を活用し、木津川の景観形成を行なっていくブロックとする。耕作地の管理や支援、整備による住民同士の交流や、自転車道や散策道など線的な地形に合わせた動線の中で草花の植栽により木津川の季節感の演出を行なう。

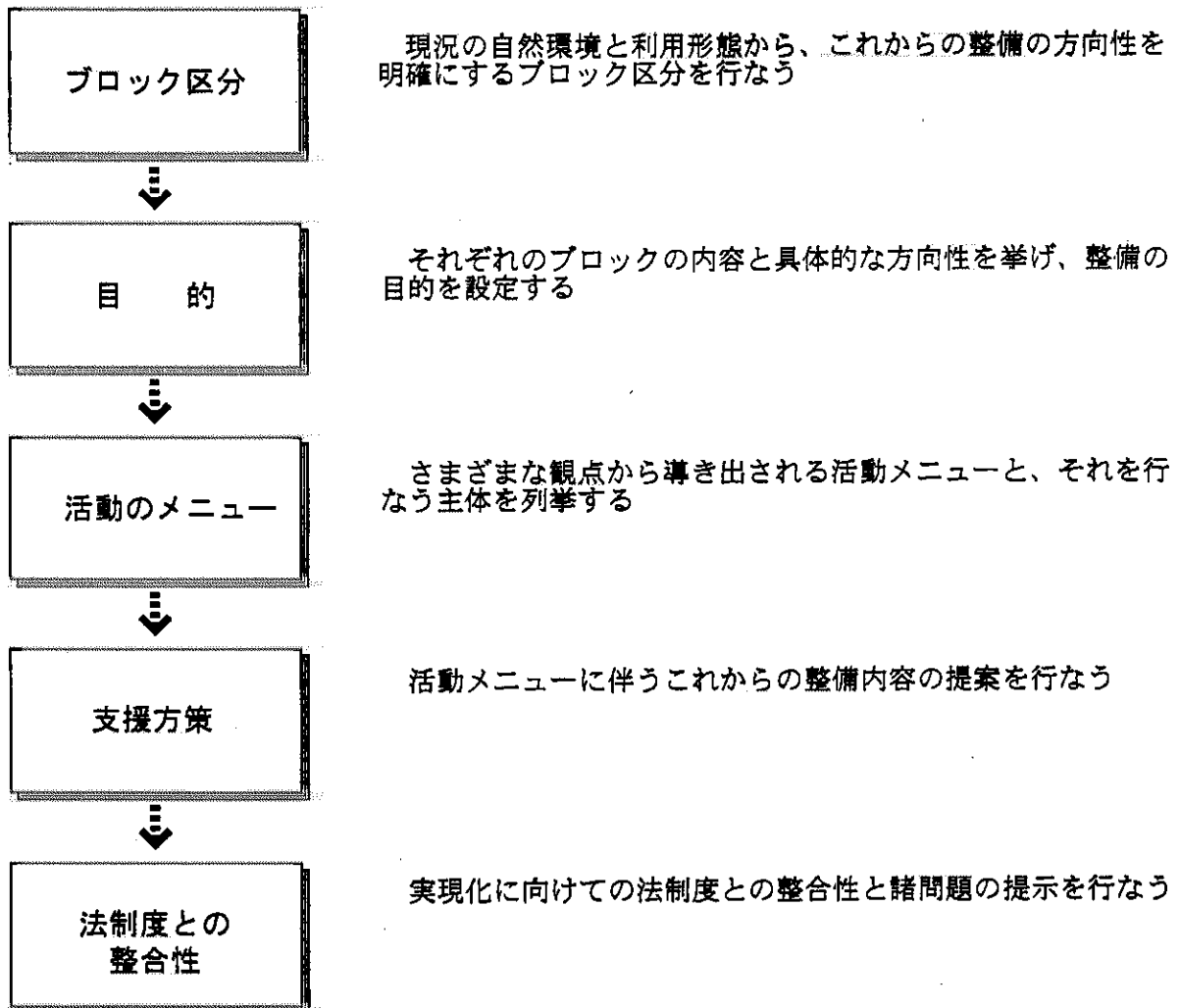
○生態系保全ブロック

セイタカヨシやモウソウチク林などの現況植生や水辺の保全を行なっていくブロックとする。昆虫や鳥類の生息環境や、砂洲の安定や現地形の維持を支えている重要な緑地と、飲料水等の水源としている清らかな水を持つ川への愛着を生み出すものとする。

4) 河川敷エリアにおける具体的支援方策

ここでは、右のフローで示されるように、河川敷エリアで行なうことができる活動のメニューを取り上げ、支援方策と実現化に向けた法制度との整合性を考えていく。

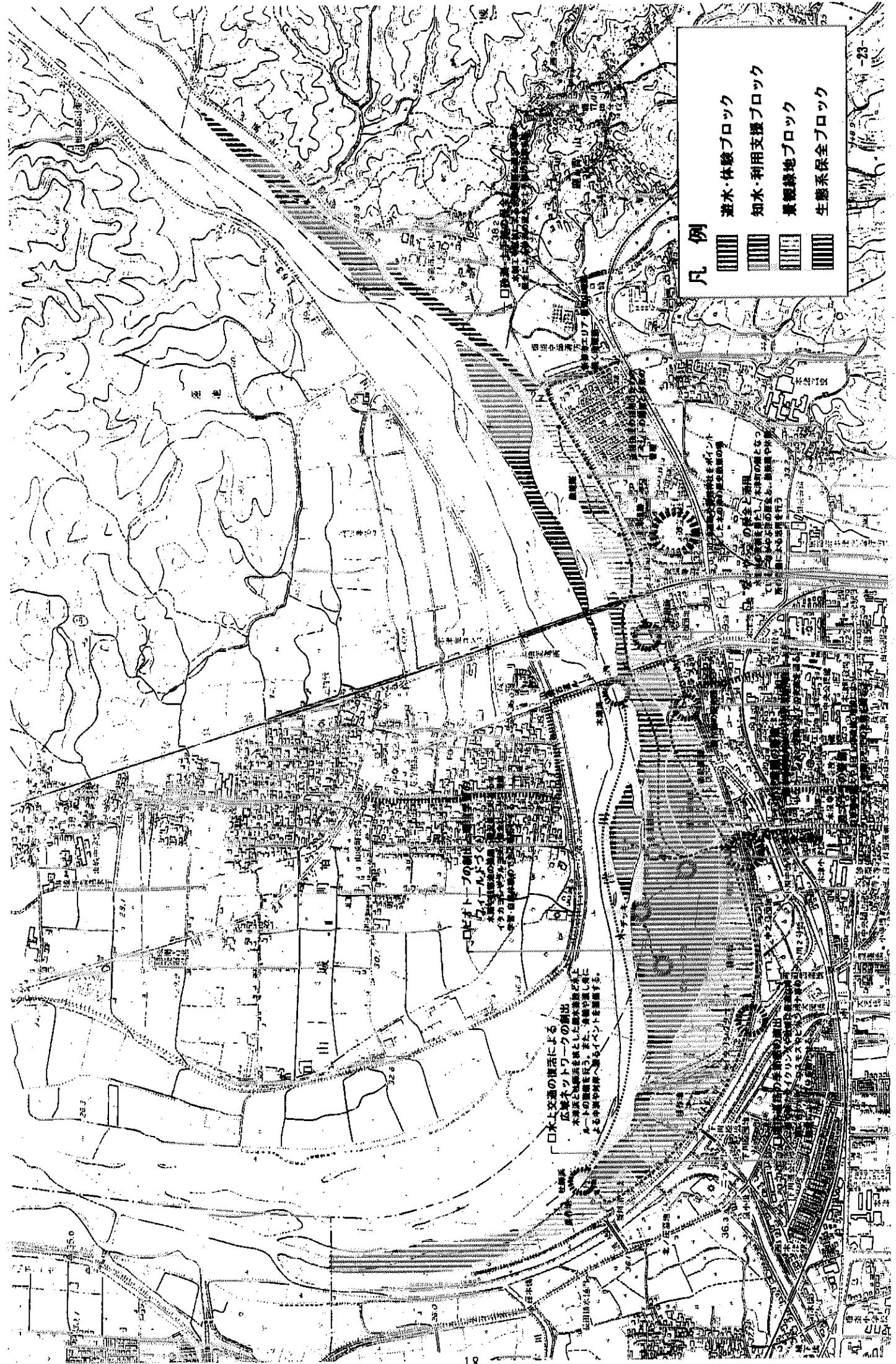
□具体的支援方策フロー



5 具体的整備イメージの検討

ブロックの目的と活動メニュー

ブロック	目的	分 類	活 動 メ ニ ュ ー		利用主体	支 援 方 策		実施上の留意性等 実現に向けた課題
			活動メニューの例	活動メニューの例		支援方策	実施上の留意性等	
遊水地域 ブロック	周辺の河川沿線の公園やキャンプ場を基に、よりレクリエーション環境が得られる環境づくりを目指す。付近の市民と関係者の協力が期待でき、実現し、新たな交流が生まれる場所とする。	町民の参加を促すための水辺づくり	○水辺周辺の整備を主とした環境整備づくり ○水辺周辺の整備と水辺づくり	町民	町民	環境整備、水辺周辺の整備 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請
		山域からの眺望の利便性を高める水辺づくり	○山域からの眺望を主とした環境整備づくり ○水辺周辺の整備と水辺づくり	町民 観光客	町民 観光客	環境整備、水辺周辺の整備 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請
知水・利用支援 ブロック	水辺の環境を向上させるための水辺づくり	水辺の環境を向上させるための水辺づくり	○水辺周辺の整備を主とした環境整備づくり ○水辺周辺の整備と水辺づくり	町民 観光客	町民 観光客	環境整備、水辺周辺の整備 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請
		水辺の環境を向上させるための水辺づくり	○水辺周辺の整備を主とした環境整備づくり ○水辺周辺の整備と水辺づくり	町民 観光客	町民 観光客	環境整備、水辺周辺の整備 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請
景観維持 ブロック	周辺の景観を向上させるための水辺づくり	周辺の景観を向上させるための水辺づくり	○周辺の景観を主とした環境整備づくり ○水辺周辺の整備と水辺づくり	町民 観光客	町民 観光客	環境整備、水辺周辺の整備 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請
		周辺の景観を向上させるための水辺づくり	○周辺の景観を主とした環境整備づくり ○水辺周辺の整備と水辺づくり	町民 観光客	町民 観光客	環境整備、水辺周辺の整備 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請
生態系保全 ブロック	周辺の生態系を向上させるための水辺づくり	周辺の生態系を向上させるための水辺づくり	○周辺の生態系を主とした環境整備づくり ○水辺周辺の整備と水辺づくり	町民 観光客	町民 観光客	環境整備、水辺周辺の整備 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請
		周辺の生態系を向上させるための水辺づくり	○周辺の生態系を主とした環境整備づくり ○水辺周辺の整備と水辺づくり	町民 観光客	町民 観光客	環境整備、水辺周辺の整備 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請	環境整備と水辺づくりの両立 完成の遅れより0.5km以下の整備 面積の占用の許可申請



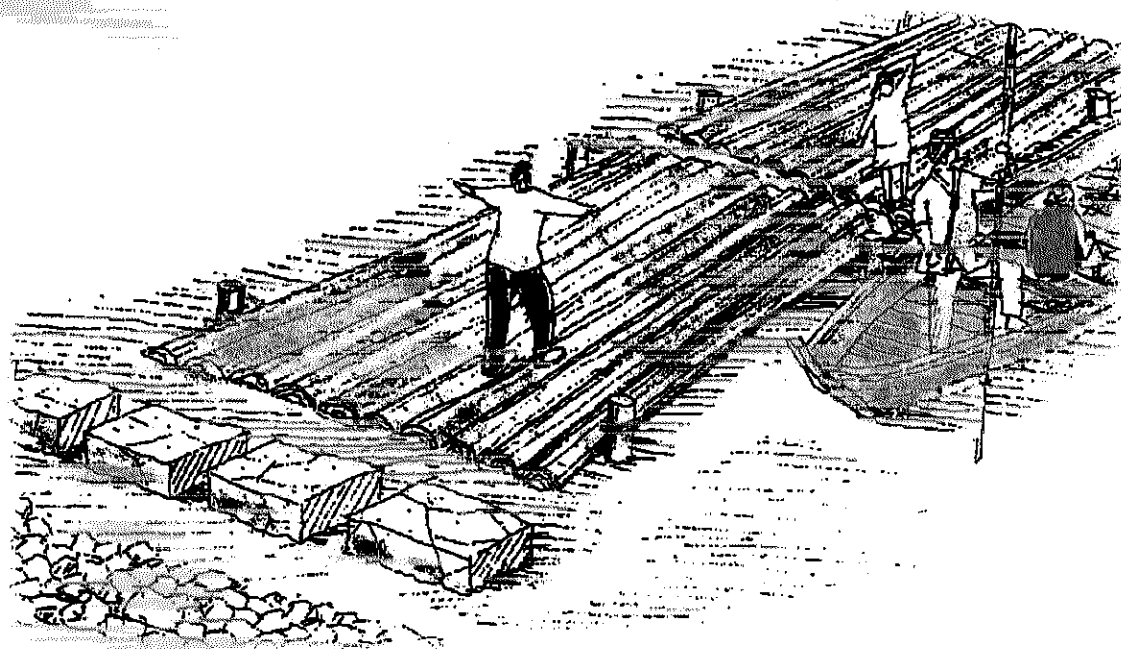
- 凡例
- 治水・体験ブロック
 - 知水・利用支援ブロック
 - 景観緑地ブロック
 - 生態系保全ブロック

5) 各ブロックの目的と導入施設

各ブロックの整備の目的と導入施設の内容を示す。

○遊水・体験ブロック

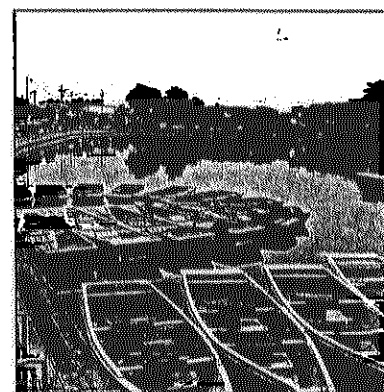
現況の河川空間特有のポテンシャルを生かした整備ならびに支援を行なうブロックとする。船着場や体験学習施設などレクリエーション活動の場や、誰もが水に親しめる水辺づくりを行ない、積極的な利用を図る。



○レクリエーションゾーン…休日にはピクニック客で賑わう美しい河原を守り、楽しんでいくためにソフトの支援を継続して行なっていく。また、より快適に利用するための駐車場やトイレなどの支援施設との連携を図る。

○船着場…イベント時には、昔の風景を思わせる筏を係留させ、渡し舟や川巡りを行なうための船着場とする。また、平時においても飛び石と木杭の配置により、水辺のアメニティを向上させる。

○ボードウォーク…高水敷部に木製のデッキを配し、テラス型のたまり空間とする。



○知水・利用支援ブロック

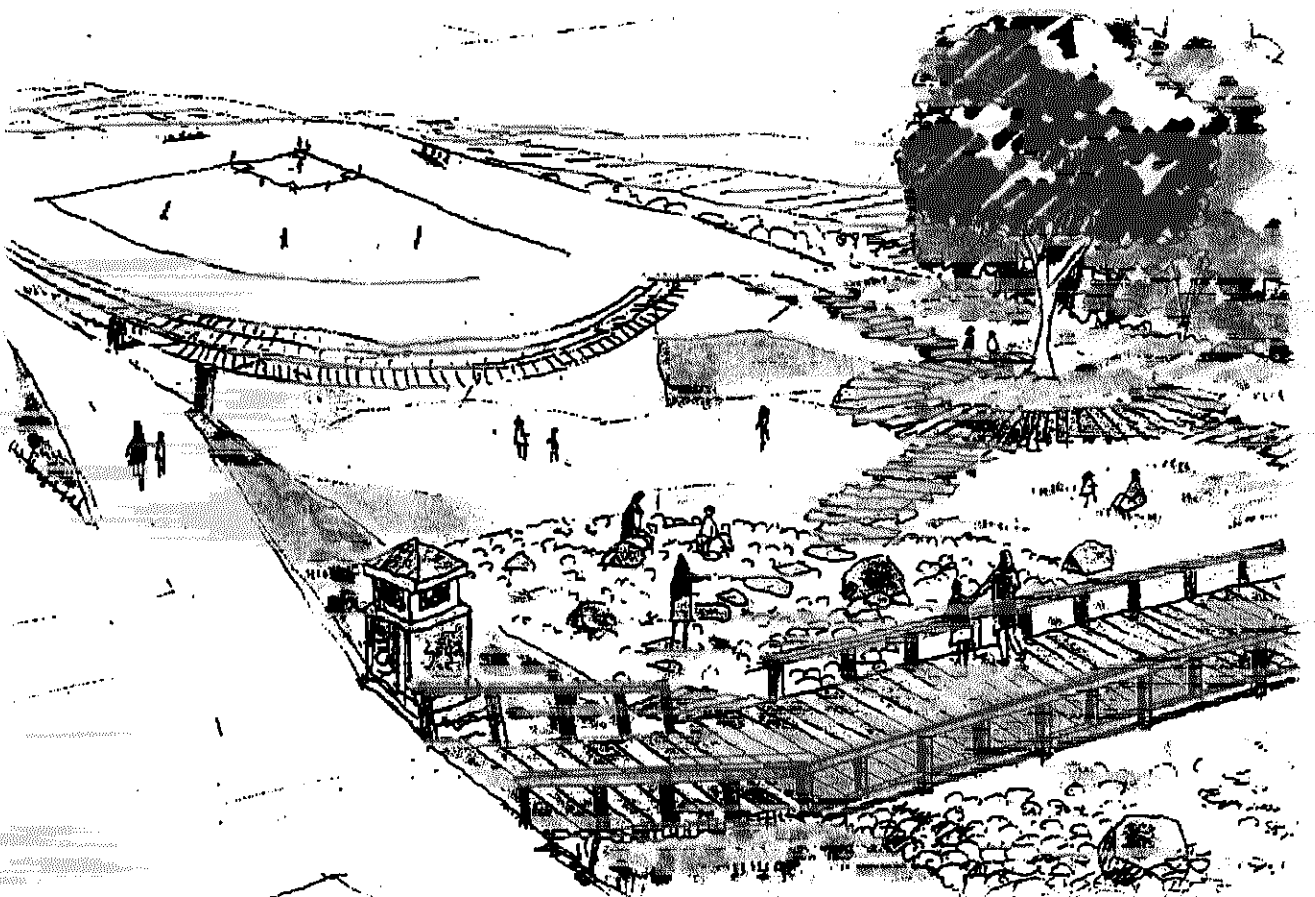
点在する史跡や歴史街道を結びつけることによって木津川の歴史性を知ることができ、かつ利用者が快適にレクリエーションが行なえるのための支援を行なうブロックとする。木津川や周辺の町の歴史を伝える歴史散策の開催や木津川渡し船の再現などのイベントを展開していくと共に、駐車場やトイレ、案内施設などの施設の整備を行なう。

○泉橋広場…現在も橋脚の残る泉橋跡には、旧奈良街道の軸線を象徴するデッキを配置する。休憩やイベントなど多様な活動ができる多目的空間として、隣接する町営グラウンドとの一体的な活用を図る。

○木の津広場…都の外港として多くの材木が陸揚げされ、加工されていた当時の雰囲気演出するための木屋所風の東屋や木製遊具を配置し、近隣の上津遺跡や御霊神社と併せて歴史体験空間とする。

○駐車場…町民グラウンド脇に10台、市民農園横に50台程度の駐車スペースを設ける。

○トイレ…町営グラウンドの堤内地側に公衆トイレを設置する。



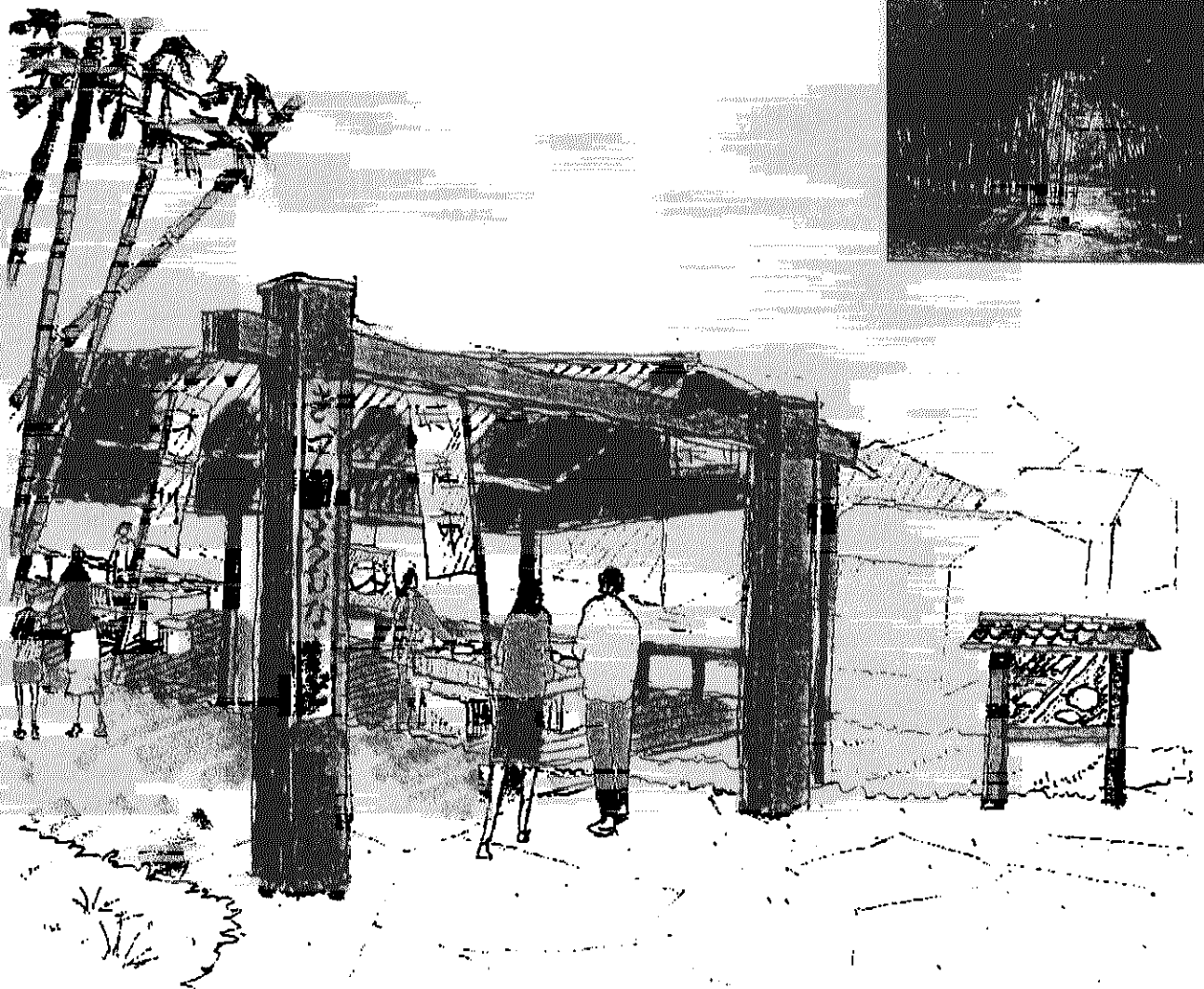
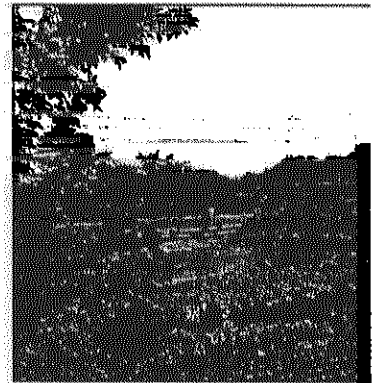
○景観緑地ブロック

現況の耕作地や緑地を活用し、木津川の景観形成を行なっていくブロックとする。耕作地の管理や支援、整備による住民同士の交流や、自転車道や散策道など線的な地形に合わせた動線の中で草花の植栽により木津川の季節感の演出を行なう。

○ながやぶ広場…水防林として機能してきた竹林を利用して、散策道の整備を行なう。その中核的な場所となるこの広場は、休憩スペースや近隣の施設の紹介、イベントの開催を行なう場所とする。

○市民農園…放棄耕作地や民有畑地の貸し出しによる市民農園を開園する。また、不良な農産物やパーベキュー時のゴミを処理する施設を設置し、コンポスト化により農園の土壌への還元を図る。

○歴史プロムナード…街道沿いの船着場としてさまざまなものが陸揚げされていた当時の雰囲気をも今に伝えるプロムナードを整備する。お茶や飲食物のサービスや、付近で取れた農作物の販売を行なう。



○生態系保全ブロック

セイタカヨシやモウソウチク林などの現況植生や水辺の保全を行なっていくブロックとする。昆虫や鳥類の生息環境、および砂洲の安定や現地形の維持を支えている重要な緑地と、飲料水等の水源としている清らかな水を持つ川への愛着を生み出すものとする。

○自然生態園…川水の浄化機能や生物の生息場所として重要な緑地空間の保全と、近隣児童の河川環境学習の場の創出を目的として、水路の整備と、木道やデッキの設置を行なう。

○保全緑地…アシの茂る水際や中洲部など良好な緑地を保持している区域は、サンクチュアリ（聖域）として保全を図る。

